

令和8年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 山口県

農業委員会名： 周防大島町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和8年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

任期満了年月日 令和8年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	4
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	2
40代以下	—	2
中立委員	—	2

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	21	21	4

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,018
農業経営体数	776

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	948
女性	373
40代以下	20

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	32
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	6
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	249	1,300	-	-	-	1,550

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	1,550 ha	177 ha	11.4 %
課題	農業従事者の減少、高齢化等による耕作放棄地の増加、農地の分散錯圃、所有者の土地への執着等が農地の確保、有効利用を図る上での課題となっている。また、担い手と呼ばれる農家自体も高齢化が進み、集積が困難となっている。今後は農業委員会と農地中間管理機構が連携し、農地と意欲のある定年帰農者や、U・Iターン者を結びつけ、担い手となるよう丁寧な関わりを持つ必要がある。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和12年度	集積率	60.0 %
今年度の新規集積面積	103 ha	農地面積(C)	1,550 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	280 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	18.1 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	165.0 ha	165.0 ha	0.0 ha
課題	柑橘主体の本町において、耕作放棄された柑橘園は病害虫の発生を予防するため、補助金を活用し樹木を伐採している。そのため、その後の農地利用に制限があり、有効利用を図る上で支障をきたしている。また、所有者や管理者が不在の遊休農地が多く、指導徹底が困難となっている。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	72.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	14.4 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0 ha
--------------------------	--------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	-
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	14.4 ha
---------------------------	---------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者		令和7年度新規参入者	
	22	経営体	17	経営体	32	経営体
	6.3	ha	1.9	ha	4.4	ha
課題	農業所得の低さ、農地の取得に対する制度上の制約、技術の習得までの期間の長さ等の理由により、新規参入する若い世代が少ない。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	3年度		4年度		5年度		平均		
	19	ha	42	ha	35	ha	32	ha	
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積				3.2		ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6	日/月	最適化活動を行う 農業委員の人数	14	人
			農地利用最適化推進委員の 人数	21	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	②	町内全ての農地について利用状況の確認を行い、遊休農地の早期発見、荒廃防止に努める。
9月	③	経営開始型受給者、認定新規就農者等を対象とした実施状況調査
2月	③	経営開始型受給者、認定新規就農者等を対象とした実施状況調査

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1	回
---------------	---	---

開催時期	8月	相談会名	やまぐち農林水産業新規就業ガイダンス
参加者数	1人	開催場所	山口市
相談会の内容	新規就農希望者を対象とした支援制度の案内や個別相談など。		
開催時期	-	相談会名	-
参加者数	-	開催場所	-

相談会の内容	-
--------	---

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)